

ひびき

山梨県立甲府支援学校

TEL 055-226-3322

URL <http://www.yogoy.kai.ed.jp/>

今年度は、コロナ禍の影響が大きく、例年同様の地域支援業務は難しいこともありました。しかし、多くの方々にご協力いただき、安全に配慮しながらセンター的機能に関する業務を行うことができました。様々な現場を拝見することで私たちスタッフ自身の学びにもつながりました。

次年度も、地域の状況に応じたよりよい支援体制を構築したいと考えています。何かありましたらお気軽にお声がけいただければ幸いです。今後ともよろしくお願いたします。

令和2年度センター的機能実績報告

○教育相談

- 来校相談 17件
- 電話相談 6件
- 体験入学 11件

今年度は、オープンスクールを中止したため、次年度以降の入学を検討する方には個別での学校見学を行いました。

近年、地域の学校を含めて複数の選択肢から入学先の検討をする方が増えています。そのため、入学予定の2年前（小学部入学の場合、年中児段階）での学校見学が多くなっています。

電話相談については、過去に訪問支援を行った学校から追加の相談を電話でお受けする事例が増えています。

○訪問支援

- 就学前施設 50件
- 小学校 5件

就学前施設では、食事に関する相談が中心でした。1日に最大3名の方の観察を行いました。園のニーズに応じて、観察後に保護者との懇談を行いました。

今年度からコーディネーターに加えて、作業療法士が同席し、スプーンの持ち方や食事への意欲の持たせ方などの専門的な助言ができるようにしました。

小学校については、授業観察による自立活動の学習内容や運動会などの学校行事への参加方法の検討、ケース会議への出席及び助言の依頼が中心でした。次年度支援学級を開設する学校から環境整備に関する助言依頼もありました。

運動会に関する相談が増える8月～9月は例年訪問支援の予約がとりにくくなります。次年度は早めの日程調整をお願いする予定です。



★こんな相談がありました★

小学校での相談例

Q 次年度新設予定の支援学級について、手すりなどの環境整備に関して助言が欲しい。

A 今回は、理学療法士とコーディネーターの2名で訪問し、本人と保護者、市教委職員、担当保健師も参加し、玄関や通路、教室、トイレの手すりや段差への対応、机やイス等の教室備品の検討を行いました。本人と本人のことをよく知っている保護者と担当保健師が同席したため、本人に合わせた環境整備の検討が行いやすかったです。

支援学級開設後も、成長に伴って環境の再評価や調整が必要になります。今後も継続して支援していきたいと考えています。

○研修支援

コーディネーター対応 3件
理学療法士対応 1件
作業療法士対応 1件

感染症への対応により、中止になる研修が複数ありました。その反面、コーディネーターが対応した就学前施設での食事に関する研修（保護者向け・教職員向け）や、市の特別支援教育担当者向けの研修、外部専門家が担当した身体の動きに関する研修（特別支援学校教員向け）は感染症対策をしつつ実施されました。

○肢体不自由専門部連携会議

来校参加 15名 オンライン参加 21名

昨年までの肢体不自由学級連絡会から、今年度は保健師さんなど福祉分野との連携を目指す連携会議となりました。

今年度は、連携会議の方向性を確認する1回のみで開催でした。オンライン参加も可能になったことで、遠方の方ともつながりやすくなりました。

令和3年度は、6月1日（火）と1月25日（火）の2回開催の予定です。

☆外部専門家のご紹介☆

甲府支援学校では、これまで勤務されていた高村裕子理学療法士、高見澤幸恵作業療法士に加えて、9月から伊東仁香（いとうきみか）作業療法士と木村千優（きむらちひろ）作業療法士に地域支援業務を支えていただいています。4名とも、学校等に訪問して観察したり相談に応じたりすることができます。

あわせて、「子どもの指導について気になることはあるけれども、誰に相談したらいいかわからない」という声に対応して、理学療法士・作業療法士の派遣に関するリーフレットも作成しました。

年度末の振り返りや年度初めの準備などで気になることがありましたら、まずは下記の連絡先に電話・メールしていただければ幸いです。

甲府支援学校

地域支援・就学担当 保坂美智子

Tel : 055-226-3322

E-mail : chiikishien@yogoy.kai.ed.jp

